

# 政策シート

(政策名) 秘書・表彰業務の推進

(予算費目名) 秘書管理費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

10年後の目標

- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 市民と共に未来をつかむ都市経営

## ◇政策の概要

市民と市トップとの相互理解を進め、意思を共有することにより、市民本位の市政を実現する。

## ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	31,725	30,971
決算	29,439	
人件費(A)	56,000	63,000
報酬(B)	31	62
年間経費(予算又は決算+A+B)	85,470	94,033

## ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
市制記念日認知度(%)	率	25	目標	15	56
			実績	55.7	
市歌認知度(%)	率	25	目標	15	43
			実績	42.9	
			目標		
			実績		

## ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

市民と市トップとの相互理解を進め、意思を共有することにより、市民本位の市政を実現する。

## ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 進んでいる

・市制記念日については、市制記念事業の中で天竜区や北区の民族芸能を上演するなど、内容を工夫しているが、平成27年度に実施した「市民アンケート調査」によると、他区と比較して天竜区の認知度はまだまだ低い状況にある。このため平成27年度の記念事業では、中区と天竜区の小学生の市内間交流事業発表などを行った。今後も認知度向上を意識しながら、市制記念日の周知、広報の方法や記念事業の内容について改善を図っていく。

・市歌については、学校行事等を通じて知った人が多いと思われる。昨年6月から開始したカラオケ配信の活用を含め、今後は、地域や世代等のターゲットを明確にした施策を検討していく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	市長・副市長秘書管理事業				○	80,960	24,898	8.0				62
2	市制記念式典開催事業				○	13,073	6,073	1.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						94,033	30,971	9.0				62

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 市長・副市長秘書管理事業

## ◇事業目的・事業対象

市政を円滑に運営するため、市長・副市長の市内外の行動に伴う秘書業務を遂行するとともに、政策全般について情報の収集をするため各種市長会事業に参画する。

## ◇事業の概要

- ・市長、副市長の市内外の行動に伴う秘書管理業務を行う。
- ・市の政策全般について情報収集を行い市長及び副市長のスケジュールに反映させる。
- ・各種市長会、G1サミット及びプラチナ懇談会などへの積極的参加に努め、市政の発展に繋げる。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
明治44年度	-	一般会計	-	-	-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	25,558	24,898
	決算	23,316	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	23,316	24,898
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)		31	62
人件費 (千円)		49,000	56,000
人工	正規	7.0	8.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
07 03 01 01 00305000

(担当課)  
秘書課

(責任者)  
袴田智久

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・市長、副市長の市内外の行動に伴う秘書管理業務を行う。
- ・市の政策全般について情報収集を行い市長及び副市長のスケジュールに反映させる。
- ・各種市長会、G1サミット及びプラチナ懇談会などへの積極的参加に努め、市政の発展に繋げる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

- ・市長副市長のトップマネジメント機能を発揮するための秘書業務が遂行できた。
- ・市長、副市長に関する会議等に積極的に参画し、政策の決定や市政運営を円滑に図ることができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

市長の役員等の就任にかかるガイドラインを作成する等、既に多くの改革・改善に取り組んでいるため現状通りとする。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

政策の実現に向けて市長副市長の秘書管理業務は必要不可欠である。

・事業の分類

大分類

細分類

# 事業シート (事業名) 市制記念式典開催事業

## ◇事業目的・事業対象

これからの市の発展を願い、市勢に功労のあった方に謝意を表し、その功績を称え、市の誕生を祝う式典を実施することで浜松市民の一体感の醸成を図る。

## ◇事業の概要

- ・市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。
- ・同日開催の市制記念式典の中では地域の伝統文化などの魅力発信をしていく中で郷土愛の醸成を図るものとする。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
明治44年度	-	一般会計	-	-	-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	6,167	6,073
	決算	6,123	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	6,123	6,073
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市制記念日認知度					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15	56			25
実績値	55.7				
市歌認知度					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15	43			25
実績値	42.9				
市制記念式典認知度					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
07 03 01 01 00401000

(担当課)  
秘書課

(責任者)  
袴田智久

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

#### ◇平成27年度の事業評価

##### ・平成27年度の事業の概要

・市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。  
・同日開催の市制記念式典の中では地域の伝統文化などの魅力発信をしていく中で郷土愛の醸成を図るものとする。

##### ・事業の成果と課題

###### 指標の達成度

・市制記念日については、市制記念日事業の中で天竜区や北区の民族芸能を上演するなど、内容を工夫しているが、天竜区の認知度は低くなっている。平成27年度の記念事業では、中区と天竜区の小学生の市内間交流事業発表などを行った。今後、認知度が低かった天竜区を中心として認知度向上を意識しながら、市制記念日の周知、広報の方法や記念事業の内容について改善を図っていく。  
・市歌については、子供の学校行事等を通じて浜松市歌を知った人が多いと思われる。昨年6月から開始したカラオケ配信の活用を含め、今後は、地域や世代等のターゲットを明確にした施策を検討していく。

##### ・事業の改善と見直し

###### 実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、今後も浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。

###### 今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

市制記念日、市歌ともに更なる認知度向上のための工夫を検討していく。

##### ・事業の分類

大分類

細分類